

第3・4学年 国語（書写）科

1 学年の目標

- (1) 日常生活に必要な文字について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や表現力を養う。
- (3) 文字がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、文字の大切さを自覚し、文字を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 内容及び内容の取り扱い

(1) 内容

- ① 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。

以下の事項について理解し使うこと。

文字の組立て方	部首と他の部分の組み立て方、すなわち左と右、上と下、内と外などの関係で一つの文字が組み立てられるという仕組みを理解する。
形を整えて書く	低学年で指導した文字のおおよその形を意識するとともに、一つの文字の構成要素となる部分が等間隔、左右対称、同一方向であることを考えて書く。

- ② 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。

以下の事項について理解し使うこと。

漢字や仮名の大きさ	画数の多い文字ほど大きく書き、少ない文字ほど小さく書くと、読みやすい文字列になることを考えて書く。
配列	行の中心や行と行との間、文字と文字との間がそろっているかなど文字列及び複数の文字列に注意して書く。書き出しの位置を決め、行の中心に文字の中心をそろえるように書く。

- ③ 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

以下の事項について理解し使うこと。

点画の書き方	低学年で硬筆等を使用して基礎的な学習をしたことを受けて、毛筆による学習を通して点画や点画の書き方への理解を一層深めて書く。
筆圧	点画によって筆圧を変化させて書いたり、一定に書いたりするので、点画の書き方と筆圧とを関連付けることを重視する。

(2) 内容の取り扱い

- ① 組立て方が複雑な漢字が多くなるので、一つの文字が組み立てられる仕組みを理解することを重視し、漢字が部首と他の部分とで構成されていることとの関連を図りながら指導する。
- ② 読みやすい文や文章を書くには、語句、文、文章などの文字の集まりという面から整えることが重要であり、毛筆を使用する場合は、小筆の使用にも配慮する。
- ③ 筆圧は、筆記具を握る力と連動することが多いので、低学年の「姿勢や筆記具の持ち方」に関する事項との関連を図りながら指導する。

3 評価の観点の趣旨

観点	観 点 の 趣 旨
知識・技能	日常生活に必要な文字の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりする。
思考・判断・表現	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。
主体的に学習に取り組む態度	文字を通じて積極的に人と関わり、文字がもつよさに気付こうとしているとともに、文字をよりよく使おうとする。